令和５年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》

読書活動への扉を開く！

Ｎｏ93　　桑村小学校令和６年２月９日　文責　渡邊

「一期一会」素敵な出会いをありがとう!!

第３学年の副教材『３年新くりかえし漢字ドリル』(新学社)の中に、「漢字パーク(四字じゅく語)」があり、「一期一会」について載っていました。

◆「一期一会」は、もとは茶道の言葉です。大切なお客様にお茶をふるまう場である茶会では、いつも「一生に一度」という思いをこめてもてなすべきだという心がまえをといたものです。そこから、一生に一度しかない出会いを「一期一会」というようになりました。(※『３年新くりかえし漢字ドリル』(新学社)より引用)

【校長の手作りの栞】

私は、「一期一会」という言葉が大好きです。桑村小学校に赴任して２年、その間、たくさんの素敵な出会いがありました。

素直で優しい子供たち、教育活動に協力的な保護者、そして、学校を力強く応援してくれる地域の方々、すばらしい皆さんとの出会いは私のかけがえのない宝となりました。

本校は、学校と家庭、学校応援団(地域社会)が協働で、読書活動を柱に「豊かな感性」の育成に努めてきました。

以前、私は、子供たちに手作りの栞(しおり)を贈ったことがあります。その栞には、「一期一会　すてきな出会いに感謝」と記しました。子供たちに、人との出会いを大切にするとともに、よき本と出会ってくれることを願ってそう記したのです。

８日(木)の朝、マルベリーの皆さんによる読み聞かせがありました。今回も素敵な本を用意し、優しい口調で子供たちに語りかけていました。子供たちは、それぞれが物語の世界に引き込まれ、いろいろな思いをもったことと思われます。

マルベリーの皆さんには、朝早くからお越しいただき、子供たちに読み聞かせをしていただくことに深く感謝いたします。ありがとうございました。

本校の子供たちにとってこれも大切な出会い、そう「一期一会」であると強く感じました。※下の写真は、８日(木)の読み聞かせの様子です。

【第１学年の様子】

【第２学年の様子】

【第３学年の様子】

【第４学年の様子】

【第５学年の様子】

【第６学年の様子】